

子育て・教育

特別支援学校在籍者の給食費相当補助事業について

◇**対象**…区内在住で特別支援学校に通う子どもの保護者。対象者には12月中旬にお知らせを送付します。
◇**申請方法**…お知らせ同封の申請書を1月31日(消印有効)までに保健給食グループへ郵送か持参。電子申請も可。
📍当グループ☎3981 - 1176

離乳食講習会

1月11日(木) 午後1時30分～2時45分 池袋保健所◇中期、後期以降の2グループに分かれて、口の機能の発達に合わせた離乳食のすめ方、調理のポイント(実演あり、試食なし)、むし歯予防を学ぶ◇おおむね7か月～1歳児の保護者◇中期は14組、後期以降は20組📅12月14日から電話で予約専用☎3987 - 4244へ※池袋保健所担当地域在住の方優先で先着順。
📍栄養グループ☎3987 - 4361

スマイル講座「子育てで大切にしたいこと」

1月16日(火) 午後2時～3時30分 東部子ども家庭支援センター◇子どもとの関わりで大切なことを学ぶ。講師…(一社)親と子どもの臨床支援センター代表理事・臨床心理士/帆足暁子氏◇区内在住で1歳7か月未満児の保護者。参加は東・西子ども家庭支援センター合わせて子ども1名につき1回◇12名📍8名。5か月以上1歳7か月未満児。5か月未満同席📅12月16日午前10時～1月15日午後6時の間に母子手帳アプリ[母子モ]から申込み※先着順。
📍当センター☎5980 - 5275

募集

令和6年度日曜教室受講生

仲間とともに学びあい交流を深めながら、生活課題の解決や、地域で

令和6年度区立自転車駐車場の定期利用者の募集

◇**対象車種**…自転車、原動機付自転車(50cc)※団体・法人は不可。現在利用中の方の利用期限は、令和6年3月末です。自動継続ではないので再度申し込んでください。
◇**利用期間**…4月1日～令和7年3月31日
◇**料金・開場時間**…2次元コード参照。
📍自転車駐車場(無人の施設を除く)にある申請用紙に必要な事項を記入し、2月10日までに各自転車駐車場へ提出。期日を過ぎるとキャンセル待ちになります。
※利用は申請用紙に記入されている利用者本人のみ。1人1台、1か所の利用に限る。応募者多数の場合は抽選。当選結果は3月1日以降に区ホームページ・各自転車駐車場で公表※申請書提出時に引換券を配布します。引換券は抽選結果の確認、利用手続きの際に必要なため大切に保管してください。
📍駐輪場管理グループ☎3981 - 4847、申込みについては各自転車駐車場へ。

の社会参加、地域住民との相互理解をすすめ、余暇活動の充実を図る◇**場所**…西薬鴨中学校、南大塚地域文化創造館、心身障害者福祉センターなど◇**対象**…区内在住、在勤の18歳以上で中軽度知的障害のある方※愛の手帳3・4度相当の方◇**年会費**…6,000円※別途集金の場合あり。
📍事前に電話し、申込書を1月31日午後5時までに生涯学習グループへ持参。1月14日に見学可(1月12日午後5時までに要予約)。
📍当グループ☎4566 - 2762

イベント

みらい館大明

①**お正月子どもまつり**…1月7日(日)午後1～4時◇(ワ)コマ回し、羽根つきなど、伝統的なお正月を楽しむ、調理のポイント(実演あり、試食なし)、むし歯予防を学ぶ◇おおむね7か月～1歳児の保護者◇中期は14組、後期以降は20組📅12月14日から電話で予約専用☎3987 - 4244へ※池袋保健所担当地域在住の方優先で先着順。
📍栄養グループ☎3987 - 4361

①(イ)と②は12月13日から電話かEメールで「当館☎3986 - 7186、📧miraikan.taimei@yahoo.co.jp」へ。直接窓口申込みも可※先着順。

としま案内人雑司ヶ谷イベント「新春雑司が谷七福神めぐり」

1月13日(土)・14日(日) 午前10時～正午◇雑司が谷七福神と雑司ヶ谷鬼子母神堂(重要文化財)、大鳥神社、池袋大仏の仙行寺などを案内。詳細はホームページ参照か問い合わせください◇各日30名◇御朱印用色紙500円(当日販売)📍往復はがき(下部記入例参照。参加者全員の名と参加希望日も記入。第2希望日記入も可)で12月20日(消印有効)までに「〒171 - 0032 雑司が谷3 - 19 - 5 雑司が谷案内処」へ※先着順。
📍当案内処 ☎6912 - 5026

としま案内人「大塚物語」ガイドツアー「大塚あたりぶらり初春寺社めぐり」

1月20日(土) 午前10時～正午 JR山手線大塚駅改札前午前9時50分集合 とげぬき地蔵尊高岩寺解散◇天祖神社、滝不動、子安天満宮、高岩寺など◇20名◇300円📍往復はがき(下部記入例参照。参加者全員分を記入)で1月5日(必着)までに「〒170 - 0005 南大塚2 - 36 - 1 南大塚地域文化創造館」へ。2次元コードで申込みも可※応募者多数の場合は抽選。
📍当団体 加藤 ☎070 - 5075 - 1382

にじいろ★カフェinとしま(オンライン交流会)

1月20日(土) 午前10時～正午◇[LGBTQ×進路とキャリア～みんなどうしてる?～]をテーマに自由におしゃべり。講師…(特非)共生ネット共同代表/大賀一樹氏◇セクシュアルマイノリティの方、自身の性のあり方についてモチヤを感じる方など◇12名📍2次元コードで1月19日までに申込み※先着順。氏名が特定できないメールアドレスで申し込んでください。
📍男女平等推進センター☎5952 - 9501

認知症映画会「オレンジランプ」

1月31日(木) 午後2～4時 としま区民センター◇若年性認知症と診断された丹野智文氏の実話をもとに描く、夫婦の希望と再生の物語◇250名◇700円(会費は500円)
📍電話でオレンジ・セーフコミュニティ豊島を作る会(㈱まんぞく介護内) ☎5954 - 9878へ※先着順。

講演・講習

第4回ヒアリングフレイル(補聴器)講演会・相談会の開催

1月13日(土) 午後2時～4時30分 としま産業振興プラザ(IKE・Biz)◇医師による「高齢者と難聴、補聴器について」をテーマとした講演会。講演会終了後に、補聴器技能者による簡易聴検と医師相談を実施◇区内在住で65歳以上の方◇講演会50名、簡易聴検と医師相談16名
📍12月14日から電話で介護予防・認知症対策グループ☎4566 - 2433へ※先着順。

消費生活講座「今からでも間に合いますか?大規模災害 VS.買い防災知識!」

1月18日(木) 午後1時30分～3時30分 としま産業振興プラザ(IKE・Biz)◇大規模災害時に冷静かつ賢く切り抜けるための準備と防災知識を学ぶ。講師…減災・防犯アドバイザー/菊池 顕太郎氏◇60名📍Eメールで消費生活グループ📍A0014308

@city.toshima.lg.jpへ※先着順。
📍当グループ☎4566 - 2416

スポーツ

としま産業振興プラザ(IKE・Biz)

キッズ講習無料体験会…①かけっこ教室/1月6日(土) 午後2時30分～3時15分、②キッズダンス/1月9日(火) 午後4時30分～5時15分◇①小学1～3年生、②小学1～6年生※いずれも小学1・2年生は要付き添い◇各回15名
ボルダリング初心者講習会…1月14日(日) 子ども向け…午後1時から、午後2時から、午後3時から、おとな向け…午後4時から。各回開始10分前までに受付◇ルールや安全に関する注意点など、基礎を学ぶ。講習参加の子どもにイクビズ特製キーホルダーをプレゼント◇子ども向け…小学2年生～15歳(親子参加可)、おとな向け…16歳以上の方◇各回10名◇1,000円
いずれも◇運動のできる服装で参加、フタ付き飲み物、室内履き📍12月13日から2次元コードで申込み※先着順。
📍当館 ☎3980 - 3131(午前10時～午後8時)

初級者水泳教室(全4回)

1月9～30日 火曜日 午前10時～正午 雑司が谷体育館◇18歳以上で泳力10メートル程度の方、基本から習いたい方◇10名◇4,000円
📍電話で12月13日～1月8日の間に豊島区水泳連盟事務局 鈴木☎080 - 5720 - 5377へ※先着順。

区民歩こう会「池袋周辺七社巡り」

1月14日(日)※雨天決行 午前9時50分 西武池袋線椎名町駅北口駅前広場集合◇長崎神社～御藏神社～氷川神社～池袋本町公園～子安稻荷神社～天祖神社～雑司ヶ谷靈園～大鳥神社～鬼子母神堂～池袋駅まで(約8km)◇300円◇軽装、飲み物、昼食、雨具📍当日集合場所です受付。
📍豊島歩こう会 吉越☎3986 - 8620

第97回区民グラウンド・ゴルフ新春大会

1月14日(日)※雨天時は1月28日(日)午後0時30分受付 総合体育館◇区内在住、在勤の方◇800円◇運動のできる服装、運動靴(用具の貸出あり)
📍電話で12月20日までに豊島区グラウンド・ゴルフ協会 寺田☎080 - 3250 - 7510へ。

はがきなどの記入例

① 事業またはイベント名	※往復はがきを利用する場合、返信に〒住所、氏名を記入してください。
② 〒住所	
③ 氏名(ふりがな)	
④ 年齢	
⑤ 電話番号	📍に住所がない場合は「〒171 - 8422 豊島区役所各グループ」へ。
⑥ その他必要事項	

第4回区議会定例会区長招集あいさつ

1. はじめに
区民による事業提案制度
233件の提案の中から10件を選定し、11月10日まで区民投票を実施、投票総数は1,670票でした。応募いただいた事業案は投票対象以外のものも、区民・企業・団体の皆様からの大切な声として受け止め、今後の区政に活かしていきます。
未来としまミーティング
「子どもレター」「事業提案制度」に続き、「もっと身近な存在になるための区役所改革」の第3弾として区民の皆様と直接向き合いながら意見交換を行う「未来としまミーティング」を来月から開始します。第1回は教育をテーマに実施します。
としま子ども会議
8月に本会議場で開催された「としま子ども会議」では、障害のある方への理解を促進するための「子ども向けユーザー」の作成や学校でのルールに対する意見など感心するものばかりでした。来年1月、初の試みとして、区の検討状況について子どもたちに報告する会を設けます。

2. 教育の充実 教育大綱の作成
これまで教育振興基本計画、いわゆる教育ビジョンに定めた目標や施策の根本となる方針が大綱と合致することから、教育ビジョンを教育大綱に位置付けてきました。しかし、区長として区政において極めて重要な柱である教育を推進するため教育委員会と協議のうえ、新たに「豊島区教育大綱」を策定することとしました。
学校におけるSDGsの取組み
11月17日に開催される「ISDGs フェスティバル」では池袋幼稚園が初めて参加し、司会進行は西池袋中学校の生徒が担当します。また、SDGsを学んだ小学生が豊島区の未来を考え、提案する「国連を支える世界子ども未来会議」を11月25日に開催します。約50人の子どもが参加し、持ち寄ったアイデアをもとにグループごとに意見交換し、本会議場で発表します。

3. 児童虐待防止の取組みと社会的養護が必要な子どもたちへの支援
11月は「こどもまんなか月間」です。医療機関、学校、関係団体、地域の皆様と実施した児童虐待防止街頭キャンペーンでは児童虐待防止と併せて暴力防止の啓発も行いました。また、児童養護施設退所者などの自立支援として、区では教材の購入などに充てる支度金と、大学などの進学に必要な奨学金を令和6年3月末の自立の準備に間に合うように支給します。本年3月末の退所者にも大学などで在学中の奨学金を支給し、経済的な支援を行います。財源は「子ども若者応援基金」を活用します。
4. すずらん・ネット会議
令和6年4月に施行される「困難女性支援法」の施行を見据え、全国初の試行モデルとして、困難を抱える若年女性の支援に関し、区と民間支援団体とが情報交換・連絡調整などを行う場として「すずらん・ネット会議」を設置し、10月12日に代表者会議を開催しました。11月10日に、支援する側のこころのケアを目的とした支援者向けの合同研修を開催したほか、年明けには実務者会議を開催する予定です。

5. 福祉・健康の増進 高齢者の見守りと健康増進
一人暮らし高齢者の多い本区では、平成26年度より区内で活動している事業者と「高齢者の見守りと支え合いネットワーク事業に関する協定」の締結を進め、宅配事業者、金融機関など22事業者と締結してきましたが、11月10日さらに10事業者が加わり、協定締結先は32事業者となりました。
ふくし健康まつり
12月3日、としま区民センター・中池袋公園・パークプラザ前イベントスペースで区と豊島区区民社会福祉協議会が主催する、第35回「ふくし健康まつり」を開催します。会場では、薬剤師会と共催する健康展や車いす操作体験コーナーも設置、東京2025デフリンピック大会のエンブレムを紹介し、耳が聞こえないアスリートが集う大会の機運醸成を図っていきます。
豊島区区民社会福祉協議会
豊島区民社会福祉協議会が創立70周年の節目を迎えた記念として、12月6日に帝京平成大学沖永記念ホールで式典を行い、区の地域福祉活動に長年貢献されている皆様に感謝状を贈呈します。さらに「災害時相互応援協定」について、現在協定を結んでいる長野県箕輪町・埼玉県和光市の社会福祉協議会に、本年、姉妹都市提携から40年目を迎えた秩父市の社会福祉協議会を加え、4者による協定調印式を行います。

6. 区民が主役となる文化のまちづくり マンガ・アニメ・コスプレの聖地
「池袋ハロウィンコスプレフェス」が10周年を迎え、過去最高となる14万1千人が会場しました。10月31日には東京都の「アニメ東京ステーション」がオープンし、当施設を含む公立施設4館と、アニメイトやサンシャインシティなど、民間企業8社の全12施設による、デジタルスタンプラリーを先月末から開催しています。トキワ荘マンガミュージアムでは、12月9日より、新企画展「ふたりの絆 石ノ森草太郎と赤塚不二夫」が始まります。
としま文化の日
3年目となる今年は音楽や芸術だけでなく、アーパンスポーツなどのチャレンジで多彩な文化イベントを開催しました。11月3日には、「みんなの区民ひろばフェス」が開催され、同日、すずらんスマイルプロジェクトでは、大学生とのコラボ企画「としま自分の日」イベントを実施しました。11月4・5日にはストリートカルチャーを一緒に集めた祭典「TOSHIMA STREET FES2023」が池袋西公園グロ―バルリングと中池袋公園で開催され、3万人が来場。若者の熱気に包まれたフェスティバルとなりました。

11月15日、高階区長が行った、招集あいさつの抜粋・要約です。

豊島区の宝である伝統工芸
豊島区が誇る地域の宝である伝統工芸保存会は、30周年を迎えた今年、東京都功労者表彰の文化功労賞を受賞されました。また、江戸象牙、東京三味線、東京組紐、貴金属装身具の工芸士の皆様が、現代の名工芸彰や日本伝統工芸会の正会員認定などを受けられました。12月より、新しいふるさと納税サイトの利用を開始する返礼品では、9名の工芸士から36品目の返礼品提供のご協力をいただく予定です。
7. 魅力と活力を高めるまちづくり 池袋駅コア整備方針

「(仮称)池袋駅コア整備方針2024」の素案を策定し、主に池袋駅西口エリアの将来のまちづくりの方向性についてお示ししました。現在、池袋西口再開発事業において、この方針のもと、駅から街へ人を送り出すサンクンガーデンや周辺のまちへつなぐ歩行者ネットワーク、交通広場などの整備について検討が進められています。区も一丸となり、今年度末の都市計画提案に向けて邁進していきます。
(仮称)東池袋駅周辺まちづくり方針
環状5の1号線や補助81号線の整備など、まちの骨格となる都市基盤が大きく変わろうとしている今般、年度内を目的に、改めて東池袋駅エリアのまちづくりの方向性を関係者で共有し、官民連携で池袋駅周辺とも連携した価値あるウォークブルなまちづくりを進めていきます。

池袋エリアプラットフォーム
区や民間企業・各種団体・大学などによって昨年11月に発足した「池袋エリアプラットフォーム」は今年4月に国から「官民連携まちなか再生推進事業」の実施事業者として決定を受け、今後は、将来像としての「未来ビジョン」を策定するとともに、民間が自立的にビジョンを実現するための体制構築に向けた検討を進めていくこととしています。
8. プラスチック資源回収
プラスチック資源回収が本格的にスタートし、区内全域で実施することができました。11月6日にサントリーグループとの間で、23区で初となる環境包括連携協定を締結しました。

9. 災害に強いまちづくりへの取組み 地域との連携による防災・減災への取組み
東京消防庁が全庁的に実施した震災区上訓練に併せ、区においても災害対策本部を開設したことを想定し、区と豊島・池袋両消防署において、相互の情報共有および連絡調整体制の確認を目的とした「連携訓練」を実施しました。
緊急医療救護所立ち上げ訓練
10月14日、としま昭和病院において「緊急医療救護所立ち上げ訓練」を実施し、四師会や柔道整復師会、4年ぶりに町会の皆様にもご参加いただき、通信訓練やテントの設置、負傷者対応シミュレーションや動線の確認などを行いました。
福祉救援センター初動訓練
10月24日、区職員のほか、福祉救援センターとなる特別養護老人ホーム、運営に協力いただく介護事業者から50名を超える参加者、見学者にお越しいただき、「福祉救援センター初動訓練」を初めて実施しました。今後、課題などについてともに検討を進めながら、マニュアル作成をはじめ、災害時要介護者の支援体制構築を強力に進めていきます。

12月には、(株)サンシャインシティのご協力を得て、災害時に多くの帰宅困難者が発生したときを想定し、一時滞在施設の開設・受付・運営を行う「帰宅困難者対策訓練」を実施する予定です。避難所生活においては女性の目線は不可欠であることから、来年2月に、女性防災リーダーを対象とした「女性の視点からの防災講座 実践編」を実施します。
10. 区と区内大学との連携・協働
11月2日、区内8つの大学と、「豊島区と区内大学との連携・協働に関する包括協定」を締結しました。本年9月、東京国際大学池袋キャンパスが開校し、100か国を超える留学生が、キャンパスライフの舞台を豊島区に移したのを機に、当大学が協定に加わりました。
11. 区施設の整備(学び舎びいす・千早スポーツフィールド)
「西部区民事務所等複合施設(学び舎びいす)」は、来年2月末に竣工予定です。西部区民事務所・西部高齢者総合相談センター・西部障害支援センターの3施設のフロアが9月末日に完成し、10月10日より新たな場所で業務を開始しました。サッカーの国際規格を踏まえ、ラグビーや少年野球など多目的な機能を備えた運動場とテニスコート2面を備えた屋外スポーツ施設「千早スポーツフィールド」が来年の秋に開設します。

12. おわりに 特別支援学校給食費補助
給食費は、特別支援学校にも支援の対象を広げることとし、今定例会において補正予算を計上しました。申請受付は12月中に開始し、区立小・中学校の給食費無償化がスタートした9月分から遡及して支給する予定です。
医療機関等物価高騰対策支援
物価高騰の影響が続く中、先月、豊島区医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護師会の各会長より支援要望を受け、区として初めて医療機関などに対する支援を行うこととしました。
基本構想・基本計画の策定
社会経済状況の変化などを踏まえ、区が優先的に取り組むべき主要課題として定義した「8つのまちづくり」をはじめとする、現在の区政運営方針をいち早く反映する必要があると考え、区政運営の最高指針である「豊島区基本構想」「豊島区基本計画」の策定時期を1年前倒しし、令和6年度末の策定を目指すこととしました。